

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文庫	症例	適正使用 位置	感染症(PT)	出典	概要
851	2008/01/25	70851	ノボノル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージージーランド	製造工程	無	無	無			
852	2008/01/25	70852	ノボノル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ブタ降臍由来トリブシン	ブタ降臍(抽出物)	不明	製造工程	無	無	無			
853	2008/01/25	70853	ノボノル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージージーランド、オーストラリア、米国及びカナダ	製造工程	無	無	無			
854	2008/01/25	70854	ノボノル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子組換え)	該当しない	有効成分	無	無	無			
855	2008/01/25	70855	CSLベレー ング	乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストラリア	有効成分	有	無	無	寄生虫感染	Int J Med Microbiol 2007; 297: 197-204	ドイツにおけるヒトバベシア症の初めての症例を報告する。患者は結節性リンパ球性ホジキンリンパ腫が再発し、脾臓摘出されたドイツ人の63歳男性で、リンパ球性マブ投与後、貧血とヘモグロビン尿による暗色尿のため入院した。末梢血塗抹標本で梨状の寄生虫赤血球封入体が確認され、バベシア症と推定され、Babesia特異的18S rDNA PCRによって確認された。シーケンス分析によりEU1と99.7%の相同性があり、EU3と名づけられた。寄生虫が消えるまでにはatovaquoneによる長期治療を要した。
												バルボウイルス	J Gen Virol 2007; 88: 2162-2167	ヒト血漿プール中に新規のバルボウイルスPARV4とその変異株であるPARV5が存在することが最近示された。4株のPARV4と2株のPARV5のDNA配列を分析したところ、PARV5はPARV4と同様に2つのオープンリーディングフレームを持ち、PARV4とPARV5は92%近くのヌクレオチド相同性を示した。両者は密接な関係のあるジェノタイプであり、ジェノタイプ1と2(PRV5と呼ばれていたもの)から成るPARV4という1つのウイルス名を使用することを提案する。